

「^{さんじよ}三助」を合い言葉に！

8月31日(土)「令和元年度にかほ市総合防災訓練」が本校を会場に開催されました。本校は初めて、にかほ市の総合防災訓練の会場になりました。その様子は早速ホームページで紹介しました。また、翌9月1日(日)秋田魁新報県央版で、仁賀保高校生の活動が報道されました。記事では「生徒は傷病者の名前や症状を聞き取ったり、担架で運んだりした。緊迫した雰囲気の中、真剣な表情で訓練に臨んだ」と伝えています。さらに、インタビューを受けた3年生は、「生徒だけで訓練した時と違う緊張感があった。より多くの市民も交え、訓練ができたらい」とコメントしています。

本校は、BV会が先導して泊まりがけの防災訓練を行ってきた経験から、地域みなさんに頼りにされて、訓練会場になったと理解しています。大変うれしく有り難いことです。これからもいざという時に、地域みなさんのお役に立てるように、今回の訓練を忘れずに生活していきましょう。

ところで、訓練の際に、にかほ市消防本部の方からお話があった「三助」について覚えていますか？このことは、今後の学校生活や地域連携に欠かせないキーワードになります。ちなみに、『「三助」の実践』は江戸時代に米沢藩主上杉鷹山の政策が始まりという説もあります。この機会に確認しましょう。

- ①「**自助**」は災害時に自分自身の命は自分で守ること。
- ②「**共助**」は地域コミュニティで災害発生時に力を合わせること。
- ③「**公助**」は公的機関が個人や地域で解決できない災害の問題を解決すること。

私たちは、防災訓練時の話として「災害」に対する考え方を学びました。上杉鷹山は、米沢藩の財政破綻を克服するために、「三助」を実践しました。ここで学ぶべき事は、防災に対する心構えはもちろんですが、学校生活全般に、三助の実践をどう取り入れるかではないでしょうか？みなさんが学び考える「自・共・公」の三助が、自己責任と周囲に対する優しさや配慮、親切心を意識した発言や行動を促すきっかけになれば幸いです。私たち教職員は「公助」の視点で、みなさんを支援していきます。

「学校の活性化」にみんなの力を結集しよう！

8月29日（木）に「部活動を通じた学校活性化に関するアンケート」を実施しました。生徒数が減少するなかで、今ある部活動をどうやって活性化するかについて、みなさんから意見をいただきました。

本校の運動部活動について、「男女共同参画社会」の実現をめざすにかほ市の取り組みも踏まえた建設的な意見を沢山いただきました。バスケットボール部に女子の部員が選手として参加する件は、長年にわたり地域や中学校からも要望があったと伺っています。アンケートでは、約9割の生徒が賛成でした。サッカー部では、すでに女子生徒が練習している現状があります。アンケートの結果を踏まえて、バスケットボール部への女子生徒の参加を認める方向で進めたいと思います。今後は、特活部から部員募集の方法等に関して指示があります。

これからも、学校の活性化に向けて、できる範囲でさまざまな取り組みをしていきます。生徒や保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

仁賀保生のみなさん、地域を盛り上げていこう！

- ★ アイコンタクト (i c o n t a c t) を心がけてください。face to face も大切なキーワード。目と目で通じ合うのみならず、「よく考えて行動する」という意味を理解して活動しましょう。
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。仁賀保高校の「自立」手帳は優れもの！
- ★ 意識力 = 意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ G T H は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と 自己肯定感を持つことが大切です！